経営改善計画書（令和5年度～令和7年度）

団体名	株式会社　さじ弐拾壱

様式2

現状と課題	主力事業が除雪などの鳥取市依存型であり、独自の収益事業を模索して、経営安定化を図らなければならない。
経営方針（令和7年度目標）	除雪事業に頼らない経営基盤作りを目指す。

視点	7年度目標（期間内の最終目標）	年度	実行計画 取組内容	実行計画 目標値	実績 取組状況	実績 実績値	分析、評価コメント（経営改善効果）	市担当課コメント
経営改革（財務面での長期見通し）	①赤字部門をなくす ②新たな収益事業を作る	5年度	【赤字部門：農作業部門の改革】水稲経営…農地維持管理料を設定し、中山間地域直接支払い制度を活用しながら、経営と地域のニーズのバランスを取りながら継続可能な地域の農地保全体制を構築する。	収支実績▲50万円	圃場MAP、年間スケジュールを作成し、計画的な業務を行った。肥料・農薬などの在庫処理の徹底。中山間直接支払い制度の個別協定締結及び、地権者との維持管理契約締結➡維持理管理料による収入増。休耕田の維持管理契約実績　面積251a　維持管理料45万、中山間交付金28.5万	収支実績　7.4万円の黒字	維持管理料や中山間直接支払い制度の交付金などを活用したことと、人件費・消耗品など無駄をなくすことで黒字化。収入保険を除くと赤字なので、引き続き効率的な業務、経費削減に努める。	引き続き経営改革に努めていただきながら、地域農業の振興を図っていただきたい。
			【赤字部門：農作業部門の改革】水稲経営…①作業記録の徹底、②農薬資材などの在庫管理の徹底し無駄を減らす。③作業スケジュールを作成し、会社全体に共有することでの業務効率化、生産性向上へ繋げる	収支実績▲50万円				
			【竹林整備事業の作業量増】次年度の実施場所の選定。作業体制の構築。	次年度作業量0.7ha申請（R5年度0.2ha）	前倒しで作業を行い、秋の作業も計画していたが、台風7号の被害により見合わせた	0.13ha	竹林整備事業の対象になる条件が変更となったことで、場所探しや作業に難航中。改めて方向性を検討する必要有。	
		6年度	【作業量増】公共の受託業務などで必要な作業備品、資格などを整備し業務の幅を広げる	新規取引先2件増				
			【赤字部門：農作業部門の改革】水稲経営…①作業記録の徹底、②農薬資材などの在庫管理の徹底し無駄を減らす。③作業スケジュールを作成し、会社全体に共有することでの業務効率化、生産性向上へ繋げる	収支実績±0円				
			【竹林整備事業の作業量増】次年度の実施場所の選定。作業体制の構築。	次年度作業量1ha申請（R6年度0.7ha予定）				
		7年度	【作業量増】公共の受託業務などで必要な作業備品、資格などを整備し業務の幅を広げる	新規取引先2件増				
			【赤字部門：農作業部門の改革】水稲経営…中山間地域直接支払い制度の活	契約締結数10%増				
			【竹林整備事業の作業量増】次年度の実施場所の選定。作業体制の構築。	次年度作業量1.2ha申請（R7年度1ha予定）				
組織改革（組織見直し、人材育成）	【R4年】正職員3名、臨時職員3名 ↓ 【R7年】正職員5名、臨時職員2名	5年度	【人材確保】作業員の高齢化に伴う世代交代、常勤職員雇用によって業務遂行に必要な職員体制を構築する	臨時雇用職員2名増、臨時職員1名増	正職員候補の臨時職員（常勤職員）1名確保、農作業受託（剪定）で若手梨農家3名確保。	臨時雇用職員2名増、臨時職員1名増	人員が足りていないので引き続き人員確保に努める	引き続き人材の確保と能力の向上に努めていただきたい。
			【人材育成】業務遂行に必要な資格取得、現場の中での技術習得、世代交代	除雪作業免許取得1名、チェーンソー・刈払い機・食品衛生責任者講習などの受講	除雪作業免許取得（1名）、チェーンソー・刈払い機・食品衛生責任者、酒類販売責任者講習受講	除雪作業免許取得 チェーンソー/刈払い機/食品衛生責任者/酒類販売責任者　講習受講	資格取得はある程度実施できた。今後は現場に出て実践での経験を積むことが大切	
			【働きやすい環境づくり】作業員確保による業務負担減、マニュアル整備にともなう業務効率化、ジョブローテーションを行うことで有給休暇取得しやすい体制をつくる	有休休暇取得率50%	有給取得状況を把握し、定期的に職員全員への有給取得の意識付け・声がけを行うことで取得率向上を図った	有給休暇取得率70.6%	大幅増。意識付けはできたように感じる。個人差があるため、有休休暇を取得できる体制づくりが必要。	
		6年度	【人材確保】作業員の高齢化に伴う世代交代、常勤職員雇用によって業務遂行に必要な職員体制を構築する	臨時雇用職員2名増、正職員1名登用				
			【人材育成】業務遂行に必要な資格取得、現場の中での技術習得、世代交代	除雪作業免許取得1名、高所作業車作業資格、チェーンソー・刈払い機などの受講				
			【働きやすい環境づくり】作業員確保による業務負担減、マニュアル整備にともなう業務効率化、ジョブローテーションを行うことで有給休暇取得しやすい体制をつくる	有休休暇取得率55%				
		7年度	【人材確保】作業員の高齢化に伴う世代交代、常勤職員雇用によって業務遂行に必要な職員体制を構築する	臨時雇用職員2名増、正職員1名登用				
			【人材育成】業務遂行に必要な資格取得、現場の中での技術習得、世代交代	除雪作業免許取得1名				
			【働きやすい環境づくり】作業員確保による業務負担減、マニュアル整備にともなう業務効率化、ジョブローテーションを行うことで有給休暇取得しやすい体制をつくる	有休休暇取得率60%				
公益増進（顧客サービスの向上、社会貢献）	①【公設施設管理事業】施設修繕や大会開催数・教室実施数増による利用者数5%増 ②【買い物支援】TOSC廃業に伴う販売エリア増、手作り弁当など新規サービスの定番化	5年度	【B＆G体育館/多目的運動広場 指定管理】B＆G育成士資格の取得による各種イベント計画、地域活動への参加	体育館等利用率5%向上	ハイシーズンに台風7号被災による施設休館（8/15～8/30）、大会中止なども重なり、利用者は減となった。	R5実績　9205人/R4実績 9991人　利用率▲7.9%	台風の影響で目標値には達しなかったが、チラシ配布効果なども有り、プール開館時期には町内外から多くの子どもたちが集まり賑わいが生まれた。	指定管理施設を有効活用した生涯学習並びに社会体育の推進と、学校教育への協力を通し、地域活性化、地域人材の育成等に努めていただきたい。あわせて、買い物福祉サービス支援等、地域福祉の向上に資する取り組みについて、事業の黒字化も図りながら、地域の他団体とも連携を密にし推進・継続に努めていただきたい。
			【買い物福祉サービス支援事業】TOSC廃業に伴い、地域のニーズに対応した販売エリア、訪問回数の増、手づくり山菜おこわ配達	16集落⇒18集落	トスク廃業、移動販売業者撤退による需要増➡地域住民のニーズに応えるべく対応。個人宅も含めて訪問集落は18か所に増加。売上4,234千円（R4）から5,717千円（R5）と前年対比135%となったが、人件費ほか経費も膨らみ赤字幅増。	訪問集落18か所	売上自体は伸びているが、赤字も同じように増。引き続き収益とのバランスを見ながら事業実施する。	
			小中学校へのキャリア学習の講師派遣、体験受け入れなどによる郷土愛を育む教育への協力	職場体験2名、講師派遣1名、職場見学2件	職場体験2名、職場見学1件対応。主体的に関わってもらえるように事前準備をしっかり行い、実施した。講師派遣の依頼はなかった。	職場体験2名、職場見学1件対応	生徒や学校と良い関係をつくることができた。次年度も積極的に受け入れを実施する。	
		6年度	【B＆G体育館/多目的運動広場 指定管理】B＆G育成士資格の取得による各種イベント計画、地域活動への参加	体育館等利用率5%向上				
			【買い物福祉サービス支援事業】TOSC廃業に伴い、地域のニーズに対応した販売エリア、訪問回数の増、手づくり山菜おこわ配達	18集落訪問⇒20集落、個別宅配				
			小中学校へのキャリア学習の講師派遣、体験受け入れなどによる郷土愛を育む教育への協力	職場体験2名、講師派遣1名、職場見学2件				
		7年度	【B＆G体育館/多目的運動広場 指定管理】B＆G育成士資格の取得による各種イベント計画、地域活動への参加	体育館等利用率5%向上				
			【買い物福祉サービス支援事業】TOSC廃業に伴い、地域のニーズに対応した販売エリア、訪問回数の増、手づくり山菜おこわ配達	20集落訪問、個別宅配				
			小中学校へのキャリア学習の講師派遣、体験受け入れなどによる郷土愛を育む教育への協力	職場体験2名、講師派遣1名、職場見学2件				